

特定有人国境離島地域の地域社会維持に係る計画策定支援事業の実施
(補正予算による調査内容)

1 現地調査の内容

1) 現地調査項目

ア 地元産品・販路拡大

- ・ 地元が推進する主力商品、今後強く売り出したい商品の調査
- ・ 現在の販路・流通に関する調査
- ・ 今後の商品開発・ブランディング、販路拡大方策の提案

イ 農林水産品の流通・出荷・鮮度維持技術等

- ・ 特定有人国境離島地域共同の出荷・流通体制の調査
- ・ 既存の出荷設備、体制、販路等の調査
- ・ 新しい出荷方法、販路拡大方策の提案

ウ 観光

- ・ 地元の主要な観光資源、入込状況、既存の旅行商品の調査
- ・ 宿泊施設、島内又は離島地域内交通手段の調査
- ・ 島内の観光資源・コンテンツの発掘（民泊、体験型観光等を含む）
- ・ 特定有人国境離島に関連した旅行商品の提案

エ 暮らし・起業の魅力

- ・ 移住者やUIJターン者、現地の起業者等への現地取材（きっかけ、魅力、苦労話等）

2) 現地調査内容の情報発信(特に、ウ、エ)

- ・ 現地調査を実施して頂いた専門家、実務家、ライター等に、観光資源、取材内容等を各種媒体（ブログ、SNS等）で紹介してもらうよう依頼
- ・ パワーブロガー等を活用して各種媒体で積極的に情報を発信

2 調査体制

- ・ 商品開発、販路拡大の専門家
- ・ 市場流通等に係る実務者（中央卸売市場や小売業界の実務者等）
- ・ 冷凍設備、乾燥設備等のメーカーの実務者等
- ・ 観光振興の専門家等
- ・ 旅行雑誌の編集者、ライター等（発信力のある者）

3 調査体制

特定有人国境離島地域のうち中核的な市町村： 15市町村

⇒ 各地域ごとに、専門家・実務家6名＋同行者の体制で派遣

特定有人国境離島地域のその他の14市町村

⇒ 各地域ごとに、専門家1名＋同行者の体制で派遣

4 実証実験の実施

1) 全国の特設有人国境離島地域間の連携による実証実験

本年度は、主に、全国を対象として、各地域間連携により以下のような実証実験を実施

ア 『国境離島』をキーワードに共同して商品（農産品、地元産品、特産品等）を地方都市等で試験的に販売

イ 個人や団体を対象として、『ボーダーアイランドツーリズム』を試験的に、企画商品化して実施

ウ 地域間連携により、獲れた（採れた）ものをオンデマンドで売り場に持っていけるようなプラットフォームづくり

2) 各地域ごとの実証実験

本年度は、1. の現地調査を行った専門家・実務家に各地域で実施すべき実証実験・社会実験を自由に提案して頂き、地域へ提案